



長岡市立坂之上小学校六年生によるPTA体験学習の「坐禅会」

蔵王山安善寺

◆編集・発行人◆

近藤龍弘

〒940-0052

長岡市神田町1丁目4番地10

TEL.(0258) 32-2811

◆スタッフ◆

小林国二 小林善秋 高橋潔 加瀬由紀子
室賀清輝 近藤マリ子 近藤善信

後援・株式会社アサヒ

印刷・(株)北越時報社

ご家族の皆さままでご覧ください

『伝統文化』を大切に

翠巖 龍弘

「朝から暑いですね」の挨拶で一日が始まった猛暑の八月でしたが、九月の声を聞くと同時に朝晩はめっきり涼しくなってきました。「暑さ寒さも彼岸まで」と言われておりますが、お彼岸が過ぎるとストロップや雪の心配をする季節があつという間にやってきました。最近一年が妙に早く感じるようになりましたのは年

をとった証拠だと言われました。此の頃よく子供時代の夢をみたり、昔の事が懐かしく思い出されるのは、還暦を来年迎える年になつたせいでしょうか。

猛暑の八月廿五日〜廿七日、『仏教看護ビハーラ学会第二回年次大会』参加のため、大阪(会場・四天王寺)へ行ってきました。参加者は大学教授、医療関係者、僧侶、一般人、学生など。スタッフも修士、博士課程などの若い人が多く、参加者の多さ、真剣さに心打たれ、大きな刺激を受けてまいりました。

内容も、和宗総本山四天王寺管長様の特別法話「柏木哲夫先生の「死の臨床と宗教：ホスピスでの経験」の題目での特別講演・藤腹明子先生などにおける「仏教看護とは何か」の鼎談・シンポジウム・研究発表など。他に宇治平等院住職の「日想観について」のお話、実演と体験もあり、大変勉強になり、今後の仏教活動に活かしていきたいと思っております。

また、金剛流・能楽師、重要無形文化財保持者、廣田泰

三師、廣田泰能師などによる能「弱法師」の解説、上演が重要文化財の五智光院本堂内陣(四天王寺様から特別許され：四天王寺では初めて)でなされ、薪能とはまた違った感懐さがあり、日本伝統文化の素晴らしさに見とれてしまいました。

日本には多くの伝統芸術・工芸、それぞれの職人さんが作り出すものなどが沢山あり、また、それぞれの地方、家にも伝統があります。それらは永年の歴史、気候風土によって出来上がり今日に伝えられております。

しかし、現在の日本社会では伝統が軽んじられているように思えてなりません。新しい文化を取り入れる事も大事ですし、現代に即応して伝統をアレンジすることも良いでしょうが、それぞれの筋・心を外しては根無し草になってしまいます。

曹洞宗の宗旨は只管打坐です。皆様からも是非、釋尊から伝わる坐禅に親しんでいただき、根無し草にならない人生をおくって頂きたいと願っております。

目に見えるものでも、見えないものでも、遠くに住むものでも、近くに住むものでも、すでに生まれたものでも、これから生まれようと欲するものでも、一切の生きとし生けるものは、幸せであれ。—「ブツのこぼし」—

【大本山總持寺 雲水日記】

知ることの大切さを学びました

近藤真弘

鶴見区の社会福祉協議会では毎年サマーフレンド（サマフレ）という障害児の余暇支援プログラムを行っています。今回初めて總持寺にもボランティアとして参加の案内があり私を含む四人が参加させていただきました。

このサマフレというのは知的障害を持つ子供たちと企画されたプログラムに従い一緒に遊び子供たちに楽しい思いで作りをする共にその親御さんの負担を少しの時間でも軽減するというのが目的です。

知的障害を持った子供と一言に言ってもその内容はいろいろです。専門的な知識のない私たちは福祉協議会の方に子供に対しての接し方や注意事項などの説明を受けましたが本当に自分が行って楽しませることができているのか、役に立つことができ

るのか不安がありました。

私が参加したのは二日間、それぞれ違う子供の担当になりました。一人の子供に二人のボランティアが担当としてその日一日一緒に行動します。担当になる子供の資料は事前に渡されどういった子供なのか、何が苦手か、何が好きで、トイレや

食事の介護は必要かなどあらかじめ知っておきます。

私が担当した子供は資料に二人とも「自閉症」と書かれています。本当に知識のない私はこの病名の自閉という言葉に内に閉じこもったおとなしく、人嫌いなイメージを浮かべました。朝九時に会場に集合し十

時ころそれぞれ子供たちが親御さんと一緒にやってきました。まずは親御さんに子供のその日の体調や最終的な注意事項を伺いその後親御さんは帰り私たちに任されます。

当初の不安どおり最初はコミュニケーションがうまく取れない子供にどう接したらよいかわからず、目を離してはいけなと言われた通り子供の後をついてうろろろすることしかできませんでした。しかし福祉協議会の企画した食事作りやTシャツ作りなど一緒にやっていたくうち、それに興味を持って参加している子供の様子や、時折楽しそうに笑う笑顔を見て、当初持っていた子供に対してのイメージが自分の中で変わっていききました。

自閉という言葉もむしろ当てはまるような子はほとんどいなく、私のことを見



つけると毎回走って飛びついてくる子や、はじめはまったく私に興味を持っていなかった担当していた子供も、しばらくするとしっかりと自分から私の手を握ってくれ、私自身もその子に必要とされている実感がわいてきました。

そんな気持ちの変化もあり、一日目の途中、そして二日目は私自身が本当に楽しく過ごすことができました。今回このようなすばらしい企画に携わることができた私が一番感じたことは、知ることの大切さです。知的障害を持つ子供たちに対す

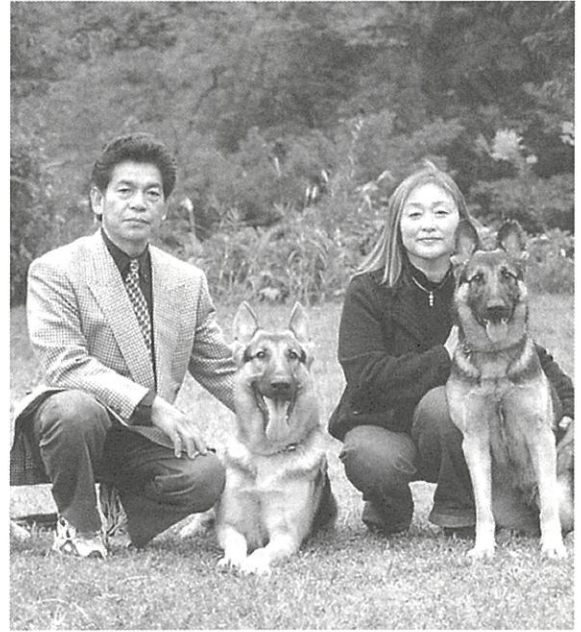
る私の無知うへの固定観念、直接接することがなければずっと変わらなかったと思います。たかが二日程度でと思われるかもしれませんが、短い時間でも直接接することで少なくとも私自身は今まで抱いていたイメージとはがらりと変わりました。逆にもっと深くかわれば楽しいこと以外にも大変なことがたくさんあると思います。それを含め知ることの大切さを学ばせていただきました。機会があれば是非また参加させていただきたいと思っています。

癒しの主人公 我が家の愛犬たち

古澤 豊

猛暑到来の今年の夏。我が家に癒しをくれる愛犬たちもオーバーヒート気味でした。ようやく八月末頃から朝夕涼しさも感じられるようになり、癒し犬の元気も本来の元気になってきたようです。

我が家の癒し犬を紹介し
ます。(驚かないで)家中、
梅ちゃん、桃ちゃん、花ちゃん(小型犬)、自分も犬と思
っているミーちゃん(猫)、
外に警察犬。安善寺様のお
宅にお飼いの優しいサクラ
ちゃんと同じシェパード犬
のアリス、リリー、サクラ、
シレン、アミー(雌)、ルイ、
ハリ、クマ(雄)、の八頭
が我が家の愛犬です。計十
一頭の癒し犬と生活してい
る仏様を信心する家族(家
内と二人)です。



喜び。健康に感謝。家内
に感謝。番犬。警察犬に成
るまでなどを紹介させてい
たきます。
喜び一番は、みんな元氣
で明るく仲が良いこと。私
達が仕事から帰ると、必ず
元気に迎えてくれて、夜遅
くとも尾を振り耳を折り、
大喜びする姿はじつに忠実
そのものです。一日の疲れ
を癒してくれる愛犬たちと
思っています。でも犬達は
主人が留守で心細く、長時
間も待っている状態から開
放された喜びの方が多いと
思います。犬の気持ちはそ
うかも知れませんが、本当
に忠実であり表情豊かな動
物だと思っています。

健康に感謝。毎日の運動、食
事、掃除などで平均七千歩。
年齢から考えれば多少のド
クターストップがあっても
と思いますが、現在のところ

異常がないようです。お酒も
美味しく、食べるものすべて
が美味しくいただいています。
す。家内と愛犬達に健康であ
ることを感謝しています。
また、共通の趣味にしてし
まった家内には頭が上がら
ません。愛犬の世話で明け
暮れている家内には本当
に感謝、感謝の毎日です。
自宅では番犬。昨今の日本
の治安状態は非常に悪く、
凶悪犯罪が身近に頻繁に起
こっています。昔の家庭のよ
うに鍵要らずではなくなり
ました。自分の身は自分で守
らなければなりません。犬が
いることで気持ちの中に安
ん感が湧くように思います。



我が家は、家の中では梅、
桃ちゃんがワンワンワン、
外では八頭の犬達が外部か
ら守ってくれています。毎日
楽しく過ごしながら、日常は
家を守って安心感を与える
愛犬はいかがでしょうか。
また、犬を飼育して犬友
が大勢出来ました。色々事
業に貢献する情報も頂いた
り、お願いしたりで、愛犬
たちが私達人間社会に陰な
がら応援してくれているよ
うにも感じています。鶴の
恩返しは分かれますが、犬
の恩返しはあまり(全然)
聞いたことはないです。

警察犬について。私の飼
育している愛犬達も今年三
主と犬が囑託されます。
今年で十八年間警察犬を
囑託していますが、今後も健
康の続く限り継続し市民の
力になりたいと思います。
世の中が平穏で犯罪がなく
なることを願う一人です。

頭が新潟県警察囑託警察犬
の試験に合格して囑託さ
れ、県内の主に長岡市管内の
犯罪捜査に協力させて頂い
ています。犯罪捜査出動は犬
の飼い主が指導者として一
緒に出動し捜査します。鼻の
警察犬と言われるくらい臭
覚が優秀で、人間の五千倍か
ら六千倍と言われています。
警察犬になるまでの訓練
は民間の警察犬訓練所で一
年から二年間ハードな訓練
を受け、段階的に試験を受
け警察犬の資格を取り、所
轄の警察署に申請し、年一
回・二日間の試験を受けて
合格すると新潟県警察囑託
警察犬として一年間、飼い
主と犬が囑託されます。

◆古澤 豊氏プロフィール
昭和19年生まれ。62歳。昭和五十五
年日豊電資(株)創業現在に至る。
代表取締役。日本シェパード犬登録
協会理事。新潟県警察囑託警察犬の
会会長。法華宗総本山本成寺(三条
市)総代。法華宗陣門流遍照寺檀家
総代。長岡長生ライオンズ会員。

体験学習の感想文

長岡市立坂之上小学校六年生のPTAの体験学習として、七月二十八日九時〜十時半まで、坐禅及びお話を頼まりました。当日は七十六名（大人三十一名・低学年三名）の参加で、坐禅を体験していただきました。生徒全員が初めての経験でしたが、一生懸命頑張つて坐しております。

坐禅後は「こころの詩」という本の中から、テレビで養豚場でのぶたの一生を見た小学五年生の女の子の作文を紹介して、生命の大切さ、相手の身になって考えることの大切さを感授していただきました。沢山の感想文をいただきましたが、その中のいくつかを紹介いたします。

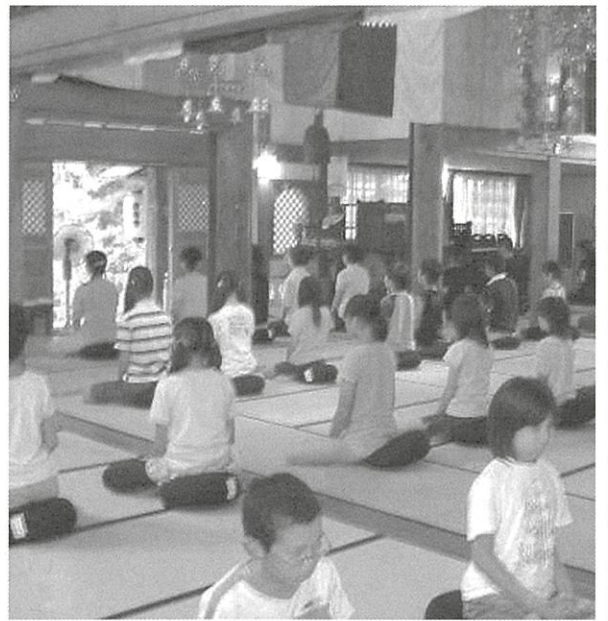
ぼくは落ち着きがなくなじつとしていることが苦手なので坐禅ができるか心配でしたが、足をくむこともできず、ちゃんと呼吸もできました。思っていたより楽しかった。背すじをのばすことがちょっとつらかったです。

お話は仏教のことや坂之上小学校のことを教えてもらい、分からないことや初めて知ったことがありました。インドで仏教が始まったことは知りませんでした。何も罪がないのに人間の勝手に殺される。ブタの話はかわいそうでした。毎日の食事はあたりまえだと思つていましたが、感謝して食べなくてはいけないと思ひました。

坐禅やお話が聞けてよかったです。ありがとうございます。 T・T

ぼくは、安善寺で坐禅を体験しました。坐禅のことについて教えてもらい、いろいろなことを知りました。

一番心に残っているのは、命の尊さのことです。「自分の命の尊さがわかる人は、他人の命の尊さもわ



かる」と教えてもらいました。特にぼくは「尊さ」という言葉が印象に残りました。「尊さ」の意味を辞書で調べたら、大切に尊重すべきものという意味でした。ぼくの命はやっぱり大切に、他人の命も大切に尊重しなければいけないことが改めてわかりました。この世界に生まれてきたことだけで、とても幸せなんだなと思ひました。 K・Y

坐禅教室に安善寺に行くことになりました。お寺に着くと丸いクッションのよ

うなものがあつて「なんだろう？」と思ひ、話を聞くと坐禅に使うそうです。

そして、話が終わると坐禅の始まりです。背すじをピンとさせ、足をむずかしい座りかたで座り、一メートルくらいの下を見たりとか、むずかしい決まりがたくさんありました。

足がどんどんいたくなつてきましたが、「坂之上小学校のせんぱいたちはもつとがんばったんだから」と思ひがなばりました。20分たつて坐禅は終わりました。こういう体験は初めてだ

つたので、またやりたいと思ひました。 N・S

坐禅はやっていけると足がいたくなるし、つらいけれど、なんだか心が落ち着きました。私は静に精神統一!! とかしないので、坐禅って落ち着くなあと強く感じました。

お話もおもしろく、特にブタの話(詩)がためになりました。トンカツとかフツウにブタ肉を食べていたから、どんなふうにしてブタが育つたのかは考えたことがありませんでした。ただ、「スーパーに売っている肉を買う」って感じでした。でも今回のお話を聞いて、ご飯を食べるときには生き物に感謝して食べようと思ひます。そして、人のことを思ひやれるようになりたいです。 B・R

この前、びっくりするような事を聞いた。「六年PTA行事で坐禅をする」。僕の中で考える坐禅は、少しでも姿勢をくずすと棒でたたかれると思つていたので心配でした。

でも、いざ本番になったら棒でたたかれることもなく、しかも雨で暑くなく、集中して坐禅ができました。「坐禅とは棒でたたかれるものだけではなく、子供に対するようなやさしい坐禅もあるんだな」と思ひました。それと同時に、「坐禅は年れいにかかわらずきるんだな」と思ひました。坐禅をやつたら、また一段と集中力がついてきたように思ひます。

初めは坐禅がいやだったけど、今は坐禅に行きたい気持ちでいっぱいです。 S・S

先日はおいそがしい中、坐禅を教えてくださいました。私に坐禅をしていて、ざぶ(丸いクッション)が後ろにずれたりして、足をくずすとしびれていたかったです。

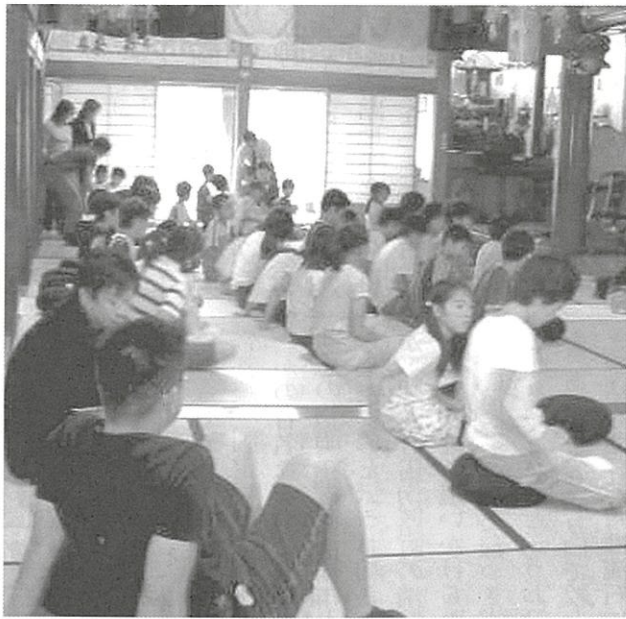
その他、命の話、くつのも教えてもらいました。私はいえませんが、坐禅をして我まんができるようになったと思ひます。お話を

一個の人間にとってもっとも恐ろしいのは、気がつかないということです。気がついてしまえば、救う方法はあるものです。

聞いて、くつをそろえるようにしようと思いました。とにかく何かの精神が育ったと思いました。 S・R

安善寺で坐禅の体験をしました。私は初めてなので楽しみでした。私は体がなかったのでスゴくきつかったです。でもなんだか気持ちやすらぎました。それにも軽くなって、不思議な気分になりました。

他にもいろいろなお話を聞きました。私が一番心に残っているのは「命」のコトで



す。いつもふつうに食べているブタ肉や牛肉。そのもとは、生き物ということであらためて知ったら、なんだか悲しくなりました。私たちのために命をおとしてくれるということを知った。私たちが、ちゃんと食べていきたいです。本当に行つてよかつたなあと思いました。？

学年行事で安善寺へ坐禅に来た。私は「坐禅」というものがよく分からなかつたのでよい経験になった。まずは、住職さんから

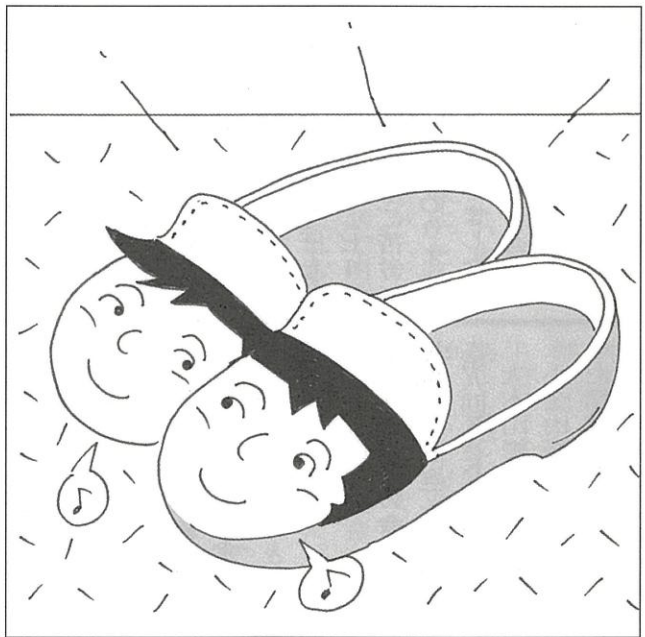
「坐禅」について教わった。住職さんは、「これほどくちなものはない」と言っていたけれど、やれるわけないと思つた。やってみると、いがいとくだった。でもたいくつでねむくなつて、「坐禅なんてどうでもいいや」と思つてしまった。けれど住職さんが言っていた事を思いだして、「これじゃだめだ」と思つた。やつと終わると足がしびれて大変だった。

次に住職さんから「命」のことについて話していただいた。私は、「みんなの命は平等に尊い」ということを学んだ。いい体験にもなつたし、また大事なことを学べてよかつたと思う。学んだ事などを生かしながらがんばりたい。

T・R

私は今日坐禅をして、どうしてこんなことしなきゃなの…とか、思つていました。けれど坐禅を始めると、なんとなくおちついてくる感じがしました。

「ポーとするな」…「ひまだな」…、「足がいたい」…



と思つたりしたけれど、心の中で息をした数を数えたりすればいいといわれまし

た。「一、二、三、四、五、六、七、八、九、十」と心の中で数えていると、なぜかほかのことを考えてしまいました。また一からやりなおしました。がんばっても二、四、六、八、十までしか数えることができません。足をなのおそうとして、もなおしにくいのに、時間はあつというまにすぎしてしまいました。こんなふうになんか少しも坐

禅をする時間をつくつて坐禅をやりたい。 S・M

先日は坐禅を教えてください。さつてありがとうございます。何をせいで止まらなくて、何も考えずに坐禅をしていました。とてもリラックスできました。長い間坐禅をするのかと思つたけど、そんなでもなかつたので少しおどろきました。足をくずすしびれて、いたかつたです。命のお話、詩のお話、礼儀のお話など、自分がいまま

でやらなかったことが多いことに気がつきました。ありがとうございます。家に帰ったら、お母さんに「くつを直さない」と言われました。毎日の習慣にしたいです。

坐禅は、めつたにできないことなので楽しかったです。また坐禅のお話を聞きたいです。 S・M

先日は坐禅のことを教えてください。さつてありがとうございます。おしゃか様と達磨様の話に聞きいってしまいました。達磨様がなんと百五十歳まで生きていて、インドの方ということに驚きました。ほかにもあんな話など学ぶことがたくさんありました。

いよいよ坐禅の時間がやってきました。姿勢と呼吸が大切とおっしゃったので、それを気をつけて坐禅をしました。少しは集中力が高まったと思います。

ぼくはこれから、ひまなどに坐禅をしたいと思えます。少しでも集中力が高まるようにがんばりたいです。 K・Y

高野山参拝と熊野古道、南紀の旅(二)

駒形シズ

さて、二日目は大師総本山金剛峯寺を参拝し、高野山を後に竜神スカイラインを抜け、しばらく新緑を楽しみながら田辺市を通過し、中辺路地へと入り、世界遺産となった熊野古道、道の駅へ到着。

さて、二日目は大師総本山金剛峯寺を参拝し、高野山を後に竜神スカイラインを抜け、しばらく新緑を楽しみながら田辺市を通過し、世界遺産となった熊野古道、道の駅へ到着。

で、後に真言宗を経て天台宗となり、御本尊は千手観音菩薩。国宝であります。かの有名な安珍と清姫の悲恋の物語。福島県白河市から来た安珍と云うお坊さんが、和歌山県中辺路町の清姫という女性に追いかけられて、最後に道成寺の鐘つき堂で焼き殺されたと云うお話を、あの悠長な語り口で絵とき説法を聞いた時は流石に胸が熱くなる思いでした。

いにしえのロマンに想いを馳せ、苔むした山道を踏みしめる熊野古道、それは祈りの路である。暗い森の中、遙かな魂と交わるロマンの路。熊野古道は信仰の道として知られている。私達は「牛馬童子のコース」を歩く。わたらせ温泉で昼食をとり、熊野本宮大社を参拝。苦しかった長い石段も旅の思い出となりました。又三段壁、千畳敷と自然の力の大きさに感銘を受けつつ、今宵の宿「みなべ千里浜温泉」に到着。旅の疲れを癒しました。最終日は、道成寺へ参拝。ここは大宝元年に建てられ、和歌山県最古の寺とされ、宗派は創建当時は法相宗

「親に孝行、子に慈愛、妻宝極楽、一家繁栄」の言葉を心して毎日をごせたらいいなと思います。次は西国第二番札所の紀三井寺へ参拝。二百段以上もある石段を駆け上がりられた方丈様には感服です。私も足には自信があったのですが流石にあの石段を見上げた途端にため息をついてしまった。一段一段最後まで登り、達成感を味わうことができて満足です。今から千二百年もの昔か



ら巡礼の姿、織るがごとしとたとえられ、現在も日夜香煙の絶えることなく、春は早咲きの桜の名所として多くの人々が訪れ、詩歌に絵画に多く残されているようです。気(き)心(こころ)と云う言葉(ことば)を胸(むね)に毎日(まいにち)を楽しく(たのしみ)過ご(すご)せば(せば)良い(よい)のでは(のでは)ない(ない)と思います(思います)。さて、いよいよ(いよいよ)今(いま)行程(けい程)最後(さいご)となった(な)粉(こな)河(が)寺(じ)に(に)参(ま)拝(はい)。自然(しぜん)の美(うつく)しさ(しさ)、自然(しぜん)の偉(偉)大(だい)さ(さ)、見(み)所(ところ)多(た)彩(さい)で(で)感動(かんとく)の連(れん)続(つ)。(つ)す(す)べて(べて)の(の)と(と)こ(こ)ろ(ろ)が(が)脳(のう)裏(ら)に(に)焼(や)き(き)つ(つ)き

忘れることが出来ません。しっかりと心のアルバムにしまっておきたいと思えます。天候に恵まれ全日程を終わり、何事もなく無事に帰ることができ、本当に素晴らしい心に残る旅となりました。最後に、安善寺様、ビーエス観光・飯泉様のご苦勞に感謝しながら終わります。ありがとうございました。合掌

安善寺・これからの行事予定

◎秋期火防稲荷吒枳尼尊天大祭
九月十八日月 午前十一時より
吒枳尼尊天祈祷大般若(稲荷堂)
茶話会(客殿)

◎秋期彼岸会
九月二十日(水) 午前十時より
彼岸入り法会(本堂)
法話
茶話会(客殿)

◎秋期彼岸会
九月二十日(水) 午前十時より
彼岸入り法会(本堂)
法話
茶話会(客殿)

◎秋期彼岸会
九月二十日(水) 午前十時より
彼岸入り法会(本堂)
法話
茶話会(客殿)

◎秋期彼岸会
九月二十日(水) 午前十時より
彼岸入り法会(本堂)
法話
茶話会(客殿)

◎秋期彼岸会
九月二十日(水) 午前十時より
彼岸入り法会(本堂)
法話
茶話会(客殿)

◎秋期彼岸会
九月二十日(水) 午前十時より
彼岸入り法会(本堂)
法話
茶話会(客殿)

◎秋期彼岸会
九月二十日(水) 午前十時より
彼岸入り法会(本堂)
法話
茶話会(客殿)

◎秋期彼岸会
九月二十日(水) 午前十時より
彼岸入り法会(本堂)
法話
茶話会(客殿)

◎秋期彼岸会
九月二十日(水) 午前十時より
彼岸入り法会(本堂)
法話
茶話会(客殿)

◎医療の心を考える会(医療の心を考える会主催)
十二月二日(土) 午後十二時半受付開始予定
会場/安善寺本堂
第十九回医療の心を考える会 パート2
※詳細は後日チラシがきます。

◎秋期彼岸会
九月二十日(水) 午前十時より
彼岸入り法会(本堂)
法話
茶話会(客殿)

◎秋期彼岸会
九月二十日(水) 午前十時より
彼岸入り法会(本堂)
法話
茶話会(客殿)

◎秋期彼岸会
九月二十日(水) 午前十時より
彼岸入り法会(本堂)
法話
茶話会(客殿)

◎秋期彼岸会
九月二十日(水) 午前十時より
彼岸入り法会(本堂)
法話
茶話会(客殿)

◎秋期彼岸会
九月二十日(水) 午前十時より
彼岸入り法会(本堂)
法話
茶話会(客殿)

◎秋期彼岸会
九月二十日(水) 午前十時より
彼岸入り法会(本堂)
法話
茶話会(客殿)

◎秋期彼岸会
九月二十日(水) 午前十時より
彼岸入り法会(本堂)
法話
茶話会(客殿)

◎秋期彼岸会
九月二十日(水) 午前十時より
彼岸入り法会(本堂)
法話
茶話会(客殿)

◎秋期彼岸会
九月二十日(水) 午前十時より
彼岸入り法会(本堂)
法話
茶話会(客殿)

徒然なるままに

高橋 潔

暑かった夏もようやく秋風を感じられるようになって来ました。

夏といえば甲子園の高校野球が風物詩の一つですが、今年の甲子園は決勝戦での早稲田実業の斉藤君、駒大苫小牧の田中君の投げ合いは素晴らしいもので、両校の激闘は見応えがありました。プロ野球より余程面白かったですね。

そんな全国制覇など新潟県の代表は夢のまた夢というところですが、どこが県代表になるかは地元の高校が出場出来そうであれば期待するのが人情です。今年は長岡地区の高校はベスト16で終わってしまいました。が、決勝戦に進出した新潟明訓高校の選手の中に長岡出身のI君がおりました。小学生のときに私の子供と同じチームでやっていたので、是非甲子園に行つて欲しいとの思いで応援に

行ってきました。結果は残念ながら敗退で、あと一歩のところまで出場を逃してしまいました。彼の力を以つてしても駄目だったかという思いです。

その後日、小学校のときの少年野球チームが創立10周年ということでチームの卒業生にも集まってもらい、卒業生同士での紅白戦やら、小学生への指導やらの記念事業をすることになりました。I君も現役引退ということ、長岡に戻つておりましたので喜んで参加してくれました。

小学生の部員は、前年の甲子園出場校のレギュラー選手の先輩を前に、殊のほか緊張しながら彼の一言一言に耳を傾け、一緒にやれるということに喜びに満ちた一日を過ごしたと思えます。記念事業が終わりグラウンドを整備して帰ろうというとき、先ず最初に整備を始め

たのがI君でした。誰に言われるでもなく、言うでもなく、それを見せようとするでもなく、極ごく自然に始めました。野球の世界は上下関係が結構あり、最上級生が誰よりも先にやるなど余り考えられない世界かと。周りの子供たちも大人たちも少し驚いた様子でした。

私が「お前凄いなあ」と云うと、最初は「何が？」という表情をしましたが、私の云ったことを理解すると、「当たり前ですよ。マナーですよ」とだけ答えてくれました。爽やかで、嬉しい気持ちと感動を覚えたのは私

だけではなかった筈です。話は変わりますが、お寺の会計に係わる者からお伝えしたいことです。震災で取り壊されたお寺の新客殿がこの春完成しました。本堂の修復費も含め、私共壇信徒の寄進や義援金・見舞金、宗務庁よりの借入金等、約一億三千万円をかけてのものです。

座禅堂には学生をはじめ、座禅に訪れる人も大勢おられるとのこと。又、お寺で法事をされ、その後客殿でお齋をされる方も多くなっているそうです。折角のもの、出来るだけ有効に使

うこと、使つてあげることが必要だと思えます。そのための客殿だと思えます。

お齋の料理はお願いすれば仕出しで持つてきてくれます。飲み物も酒屋さんからも、仕出し屋さんからも調達できます。お願いすれば跡片付けも仕出し屋さんがしてくれるそうです。が、それでも次にお使いの人に気持ち良くお使い戴くためにも、帰るときには最低限お使いになられたお茶碗等はお盆にまとめるくらいはしておきたいものです。それもマナーかと思えます。使う方が増えるということは有り難いことですが、管理する方は大変だということも理解しておかなければならないことです。

それから客殿を利用するときに負担をどうすれば良いのかとの声をお聞きします。確かに冷暖房などの維持管理費は今までより多額になってきておりますが、幾らということを決めますと税金の問題が出てきます。心づけする、しないを含め、皆様のお気持ちでお

決めくださいというほか有りません。それでも何か目安をとということであれば、ホテルでの会議室借り料あたりを目安にしたらいかがでしょうか。あくまでご喜捨というお気持ちで。

お別れ

(平成十八年七月〜八月末)

小松 剛様 七月廿五日寂

長岡市新保

小林忠資様 七月廿九日寂

長岡市昭和

玉垣三郎様 七月三十日寂

十日町市寿町

関 榮子様 八月二日寂

長岡市花園東

相澤良一様 八月十日寂

長岡市永田

田中達夫様 八月十一日寂

新潟市南万代

渡辺 勇様 八月廿七日寂

長岡市春日町

ご冥福をお祈り申し上げます。

ネコからの電話?!



ペコのひとりごと

記録的な暑さが続いた夏でしたが、九月の声をきくと窓を開けるとクーラーの風とは違う爽やかな風が心地良く感じ、待ちに待った時節がやって来ました。ようやく少し食欲も出てくるかもしれません。

楽しみに待っていたサクラの赤ちゃんはと言うと、残念な事にみんな流産してしまい一匹も生まれませんでした。

そんな中、八月の長岡祭りが終わって間もなく、一番下のお兄ちゃんが生後三ヶ月くらいの黒白の猫(牡)を連れてきました。お寺で一番猫が苦手なのはお母さん。十八年前に私が公園から拾われて来た時もお母さんは拒否反応を示しました。その時私は、早くお母さんに好かれようと、膝の上に乗ったりしたのを覚えてます。今度来た猫もそんなお母



さんの気持ちが変わったのでしょうか、お母さんが一人で留守番をしていました。携帯電話が鳴りました。誰も居ない筈の自宅からでした。携帯電話を耳に当てながら発信先が何処か電話機の置いてある部屋を見てまわったら、住職の書斎の

机の上にある電話の横に猫がいるではありませんか。あり得ないような話ですが、お母さんの携帯へのワンタッチボタンに手足が触れたのでしよう。無意識の内にお世話になりますか。宜しく」と言いたかったのかも知れません。

それにしても私の頃とは表現の仕方が随分変わったものです。私とサクラとお母さんの心を掴むのにはかなりの時間と努力が必要かと想うのですが・・・ピョンピョンと身軽に高い処を跳び回っています。そんな猫を見てみると私にもあんな元気な時があったんだなと懐かしく思い出されます。

特に今年の夏は、いつもは元気なお母さんも少々疲れ気味で、朝食を抜く事が多かったようですが反面、住職は「ご飯が美味しいね!」と三回の食事はしっかりとりとっておりました。お母さんの「ついて行くのがやっとなだは!」と言う声は何処から聞こえてきそうです。

にゃーん

編集 雑感

最近よく新聞・雑誌等に記載されている廃食用油を利したバイオディーゼル燃料(BDF)の話題が取り上げられ、各方面で実用化に向けて動き始めています。これは地球環境、特に二酸化炭素排出量の削減に必要な温暖化を防ぐ大切な役割をしています。新潟県も6%の削減を目標に掲げました。旧長岡市内の小中学校や施設等で出る廃食用油量は年間2万リットルくらいと聞きました。これをBDF燃料として使用しても削減量は微々たるものです。仮に一日1千リットル、年3百日使用すると、削減量は年約780トンくらいで、まだまだ目標にはほど遠く、今後の廃食用油等の回収

に期待がもたれています。皆様も家庭で出る天ぷら油等の廃食用油を捨てないで、このような取組に協力してほしいと思います。参考までにBDF方式には色々な方法があります。主流は京都で採用されたメチルエステル法(世界の標準方式)、エマルジョン法、他それぞれ独自の方式で実用に向かっています。これは、ディーゼル自動車燃料として使用されています。また、動物性廃食用油等は水を加え、水エマルジョンにし、ボイラーの燃料としても使用ができ、今まで捨てていた廃食用油に感謝し、地球環境改善に役立てて下さい。その廃食用油を回収し、BDF燃料として提供するNPO法人の申請が出され、早ければ十月頃認証されると思いますので、NPO法人の話をお聞かせられたら協力をお願いします。関心のある方は編集委員の小林までご連絡下さい。※お願いです。皆様の投稿が最近少なくて困っています。多くの投稿を期待しています。

お便り原稿用紙

季刊誌では、壇信徒・読者の皆さまと、ごいっしょに誌面をつくりながら、コミュニケーションを深めたいと思います。ハガキまたはお手紙、ファックスなどで、お気軽にお便りをお寄せください。お待ちしております。

原稿の例

- 思い出話／ご家族、ご先祖、お寺の思い出話など。
- 私に言わせて／家事や子育てのお話、身近な出来事など。
- 教えてください／仏事のしきたりや疑問(編集部やお答えします)など。
- 嬉しい・楽しい／嬉しかったこと、楽しかったこと、悲しかったこと、怒ったこと。

小林善秋

第三十六号、新年号は平成十九年一月一日(月) 発刊予定です。